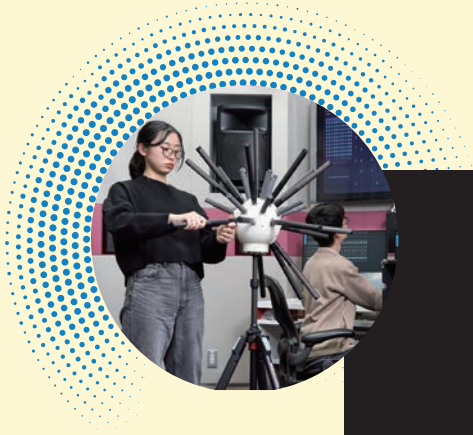
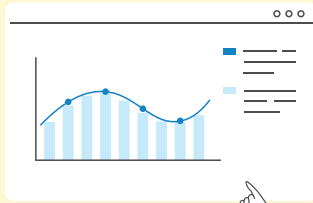
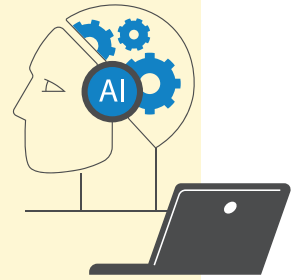
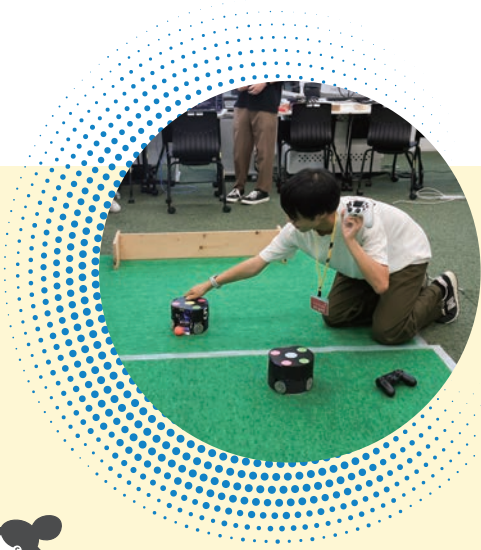


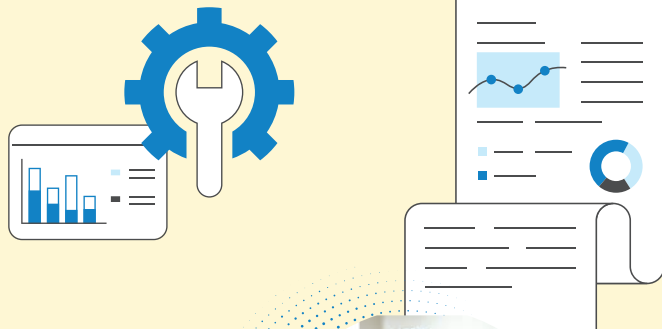
R RITSUMEIKAN  
UNIVERSITY



College of  
Information Science and Engineering

立命館大学  
情報理工学部  
情報理工学研究科  
2027

Graduate School of  
Information Science and Engineering



## INDEX

- P2 **大学** **大学院** 紹介
- P3 **大学** **大学院** 学びの特色
- P4 **大学** 4年間の学び・7つのコース
- P5 **大学院** コース紹介  
**大学** **大学院** 学費・奨学金・入試
- P6 **大学** カリキュラム
- P7 **大学院** カリキュラム
- P8 **大学** **大学院** 研究活動紹介・教員紹介
- P10 **大学** **大学院** 進路・就職・卒業生からのメッセージ

# 目指すのは、新たな未来の創造。 「情報」の力で社会をより便利に、より楽しく、より安全に。

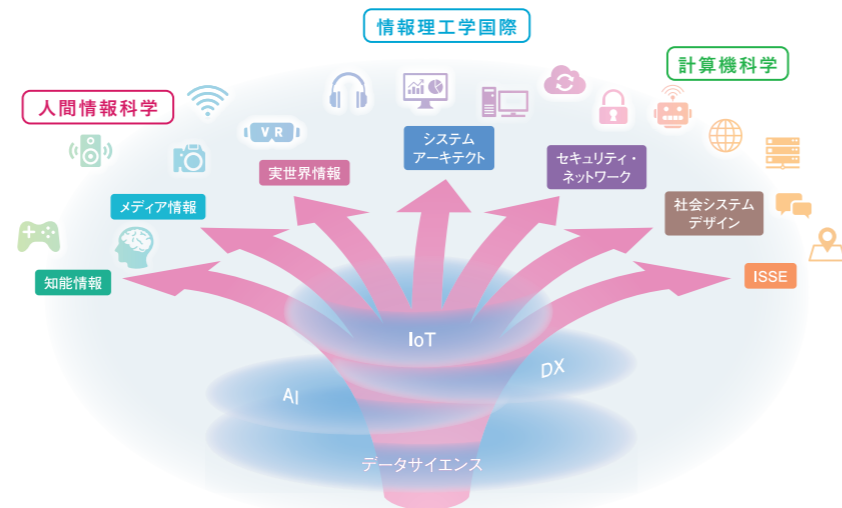
情報通信技術（ICT）に関わる広範な領域を網羅する情報学部として、びわこ・くさつキャンパス（BKC）に2004年4月に情報理工学部が設置され、2012年4月に情報理工学研究科を設置しました。

また、2017年4月より1学科7コース体制に改組し、入学後の1年生春学期終了時に、秋学期から所属するコースを選択する制度も導入。授業を英語で行う科目のみを履修して学位取得に必要な単位を取得できるISSE (Information Systems Science and Engineering) コースも開設しており、世界で活躍できる国際性を備えた次代を担う技術者・研究者を育てています。

そして、2024年4月より大阪いばらきキャンパス（OIC）へ移転し、各コースにおける高い専門性を軸として幅広い情報技術分野を学んでいます。

研究においては、産官学および地域との緊密な連携の下に、現実世界と仮想世界を融合させた複合現実感技術、祇園祭や能などの日本の文化をデジタル化して次世代に継承しようとする日本文化デジタル・ヒューマニティーズ、土木・センサ・情報通信の技術を融合した防災・減災プロジェクト、音響技術で生活を豊かにする研究など、独創的なテーマで国から大型の予算を獲得し、世界に誇る高水準の成果を挙げてきています。多くの教員や大学院生が国内外の論文誌や国際会議で成果を発表し、多数の受賞を得るなど高い評価を得ています。

また、有益な知見をデータから引き出すデータサイエンス、コンピュータが自ら判断を行うAI、ビジネスや組織の活動・内容・仕組みをデジタル技術により再構築するDX、さまざまな機器をインターネットに接続するためのIoT等、新たな未来社会に必要な知識を習得し、さまざまな専門分野に挑戦することで、世界にインパクトを与える研究に取り組みます。



### 大学

#### 情報理工学部 情報理工学科

- システムアーキテクトコース
- セキュリティ・ネットワークコース
- 社会システムデザインコース
- 実世界情報コース
- メディア情報コース
- 知能情報コース
- Information Systems Science and Engineering Course 英語・4月

取得学位：学士（工学）



<https://www.ritsumeai.ac.jp/ise/>

### 大学院

#### 情報理工学研究科 博士課程前期課程 4月・9月

##### 情報理工学専攻

- 計算機科学コース
- 人間情報科学コース
- 情報理工学国際コース 英語  
(Information Science and Engineering Course)

取得学位：修士（工学）

#### 情報理工学研究科 博士課程後期課程 4月・9月

##### 情報理工学専攻

取得学位：博士（工学）



<https://www.ritsumeai.ac.jp/gsise/>

## 大学 大学院 学びの特色

### 1 国内外で高く評価された研究実績と最先端の研究環境

科学研究費助成事業・共同研究等で活発な研究活動を展開しています。

最新の設備・機器を整備し、最新の研究成果に基づいた大学教育ができるため、充実した研究環境下で学ぶことができます。

#### 2025年度科学研究費助成事業（科研費）

[採択金額]

**14億8,200万円**

西日本私立大学1位  
(私立大学4位)

[採択件数]

**652件**

西日本私立大学1位  
(私立大学5位)

[研究分野「情報学」の中での採択件数]\*

審査区分「人間情報学およびその関連分野」

**私立大学1位(全国7位)**

\*立命館大学他学部や他大学との共同研究を含みます。  
(データ出典：文部科学省・独立行政法人 日本学術振興会)

### 2 全国トップクラスの教員数と研究領域

ITに関わる先端かつ多様な研究と教育を約100名の教員体制で行っており、国内有数の規模を誇るIT分野の学部・研究科となっています。

そのため、学部・研究科としてはトップクラスの約50もの研究室が設置されており、幅広い情報技術分野から自身の興味のある研究室を選択することができるのも魅力の一つです。

米国スタンフォード大学とエルゼビア社による「世界のトップ2%の科学者」にも情報理工学部・研究科の教員が選出されています。

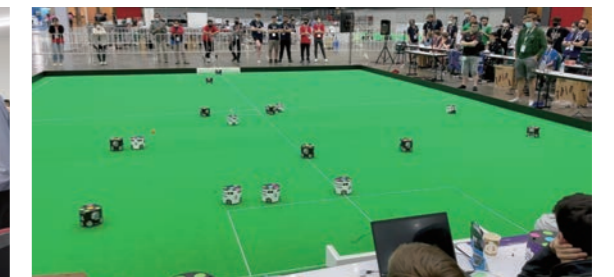


### 3 国際性豊かな環境での学び

全ての授業が英語で展開され、英語での学位取得が可能なコースを設置しています。また、英語基準入試を実施しており、研究科では秋入学（9月入学）も採用されています。そのため学部・研究科では、約480名、38カ国・地域の外国人留学生が所属しています。全国の私立大学の中では2番目に留学生が多い大学となります。研究室では、日本人学生も日常的に英語でコミュニケーションを取っています。日本人学生と留学生が相互に刺激を受けながら交流し、価値観や文化の垣根を越えて学習や研究を行う環境を整備するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成を行っています。

多くの教員や学生が国内外の論文誌や国際会議で成果を発表し、多数の受賞を得るなど高い評価を得ています。課外活動においてもプロジェクト団体「Ri-one（人工知能開発）」が世界45カ国・地域から約300チームが参加する自律型ロボットによる世界的な競技会RoboCupにおいて優勝するなど、活発な活動が行なわれています。

また、立命館大学では世界36カ国・地域、161大学・機関に留学が可能です。さらに情報理工学部・研究科では独自の留学プログラムを展開。アメリカ、インド、中国、ベトナムの現地企業や日系企業の海外支社における就業体験を通して実践的な能力を修得する海外インターンシップも実施しています。



大学 4年間の学び

- [特長1] 1回生では情報科学分野全般の基礎を学修し、春学期終了時に各自の興味や将来のビジョンを考慮してコースを選択します。
- [特長2] 1回生秋学期から配属されたコースで専門分野を学びます。
- [特長3] 3回生春学期に所属する研究室を決定し、秋学期から1年半をかけて卒業研究に取り組みます。
- [特長4] 各自の目的意識に合わせてユニットを選択し、コース横断的な学びを深めることもできます。

上記の学びを通じて、専門分野に関する深い知識や、自ら問題を発見し解決できる実力が身に付き、大学院へ進学した場合も、より深く高度なレベルからスタートすることが可能になります。

大学 7つのコース

時代の要請に合わせた各専門領域を深く学ぶ日本語基準の6つのコースに加え、さまざまな分野の知識を横断的に活用してグローバルな環境で問題解決を実践する英語基準のコースを設置しています。情報分野を取り巻く新たな社会状況に対応できる人材の育成を目指します。

※カッコ内はコース名称の略称です。  
※2次元コードから各コースの紹介動画を視聴できます。

実世界情報コース(実世界)

ICTを通じて人間と外界を結ぶヒューマンインタフェース、臨場感の高い仮想世界を体感するVR技術やAR/MR技術、身の周りのモノをネットワークにつなぐIoT、フィジカルAIを実現するロボット技術を学びます。



メディア情報コース(メディア)

画像や音などの多様なメディアデータを活用する情報処理手法を学べます。特に、CG、情報可視化、VR/AR、画像処理・認識、音声認識・合成、音響情報処理、信号処理などの分野で最先端AI技術も駆使した研究に携わることができます。



知能情報コース(知能)

自然現象や社会現象の計測データの解析をはじめ、数理モデル、シミュレーションやAIなどを運用する総合的な知識と技術を体系的に学びます。また、生体情報などの実データの取得と情報の抽出を通じ、知能情報システムを工学的に実現する能力を修得します。



Information Systems Science and Engineering Course (ISSE)

情報工学分野に精通し、多種多様なコミュニティにおけるチームの一員として、グローバルに活躍できる人材を育成。授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得でき、学生が自ら問題を発見し解決していく課題解決型学習が根幹となっているのが主な特長です。



※授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得できるコース

システムアーキテクトコース(SA)

今まで誰も作ったことのない情報システムを構築できる「建築家(アーキテクト)」を目指し、ハード、ソフトの基礎的な技術から、データサイエンス、IoTまで情報システム技術全般を学び、システム開発・運用のための実践的能力を獲得します。



セキュリティ・ネットワークコース(SN)

現実世界と仮想世界が高度に融合する現代社会では、その礎となる情報インフラの重要性は日々高まっています。本コースでは、情報インフラを構成するセキュリティ、ソフトウェア、ネットワークの知識や、安心・安全な情報システムの構築技術が身に付きまます。



社会システムデザインコース(SSD)

膨大なデータの分析とモデル化を行う技術、具体的な社会システム・サービスを設計・実装する技術、人々と社会・システムを高度に交流させる技術を学び、人間とICTが共存する未来の社会・システムを創造・実現する実践的能力を身に付けます。



大学院 コース紹介

博士課程前期課程

情報理工学専攻  
計算機科学コース(日本語基準)

計算機科学コースでは、計算機アーキテクチャやソフトウェア技術、情報ネットワーク技術を中心にヒューマンインタフェースや認知工学といった分野の教育研究を行います。

情報理工学専攻  
人間情報科学コース(日本語基準)

人間情報科学コースでは、言語・音声・画像などのメディア処理技術やパーソナルリアリティ、知能システムや人間工学、知能ロボティクスといった分野の教育研究を行います。

情報理工学国際コース(英語基準)  
(Information Science and Engineering Course)

計算機科学から人間情報科学まで幅広い分野の教育研究を英語で行います。  
※授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得できるコース



博士課程後期課程

情報理工学専攻

情報理工学専攻では、研究科に相応しい高度な専門的実験・実習設備・機器環境を活用した教育・研究を展開します。  
また、国際連携・地域連携や国内外の産業界、学内関連研究科との連携等、様々な連携型研究を行います。

大学 大学院 学費(初年度納付金)

大学	入学金	春学期授業料	秋学期授業料	合計
	200,000円	900,800円	900,800円	2,001,600円



大学学費

大学院		入学金	春学期授業料	秋学期授業料	合計
博士課程 前期課程	他大学出身者	200,000円	668,800円	668,800円	1,537,600円
	本学出身者	—	668,800円	668,800円	1,337,600円
博士課程 後期課程	他大学出身者	200,000円	250,000円	250,000円	700,000円
	本学出身者	—	250,000円	250,000円	500,000円



大学院学費

※2027年度学費。次年度以降、変更となる可能性があるため、HPでご確認ください。

大学 大学院 奨学金などの主な助成制度

学生が安心して学生生活を送り、一人一人の学修・学生生活の目標にチャレンジできるよう、様々な奨学金制度があります。  
奨学金、研究助成制度についての詳しい情報はこちらをご確認ください。



大学奨学金



大学院奨学金

大学 大学院 入試について

入試についての詳しい情報、スケジュールについてはこちらをご確認ください。



大学入試サイト



大学院入試サイト

「好き」×「ICT」で世界は  
きっと  
変えられる  
Student's Campus Story  
情報技術で「好き」を追求。学生それぞれのストーリー

「好き」×「ICT」で世界はきっと変えられる  
情報技術で「好き」を追求。学生それぞれのストーリー  
情報理工学部特設サイトはこちら▶



大学 カリキュラム

※AO選抜入学試験[ISSE方式]などで、Information Systems Science and Engineering Courseに入学する方は、入学時からコースが決まっているのでコース選択は行いません。

Table of University Curriculum showing degree (Bachelor's), semester (1-6), and course details for various fields like Mathematics, Information Science, and Systems Design.

上記は2026年度のカリキュラムです。今後、科目名称等が変更になる場合があります。
上表はカリキュラムの一部です。詳細は、学部ウェブサイトとシラバスをご参照ください。
上記の科目に加えて、学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索

外国語の選択

英語※
情報科学においては英語運用能力が重要とされるため、英語を学修し、情報科学分野で国際的に活躍できる人材の養成を目指します。
※外国人留学生入試を経て入学した学生は日本語の履修可能

大学院 カリキュラム

Table of Graduate School Curriculum showing degree (Master's/Doctoral), semester (1-6), and course details for fields like Computer Science, Information Science, and International Information Science.

上記は2026年度のカリキュラムです。今後、科目名称等が変更になる場合があります。
上表はカリキュラムの一部です。詳細は、大学院ウェブサイトとシラバスをご参照ください。

科目についての詳細は オンラインシラバス 立命館 検索



大学 大学院 研究活動紹介

「ものづくり」をテーマに学び 知識の集積だけではない実践力を養う。

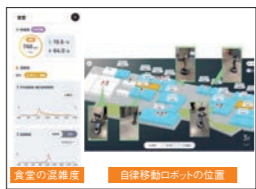
情報理工学に関わるさまざまな最先端の研究を行っています。知識を集積するだけでなく、活用し、実際に作って検証するというものづくりの実践を通じ、技術者として必要なIT技術の適格性を見極める力やシステム開発能力を養います。主体性・創造性を伸ばすことに加え、企画・管理・運営能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力の向上を目指します。

ここでは、多岐にわたる研究活動の中から、KEYWORDを通じて、一部の研究例をご紹介します。

**KEYWORD IoT**  
 関連コース SA SN 実世界 メディア ISSE 計算 人間 国際

研究例 H棟をデジタルツインで再現する

大阪いばらきキャンパスのH棟はロボットバリアフリーかつスマートビルとして設計されています。センサーネットワークから収集されるデータをクラウドに集積してデジタルツインを実現します。アプリから食堂の混雑度や教室の快適度がリアルタイムに把握できます。



**KEYWORD コンピュータネットワーク**  
 関連コース SA SN 計算 国際

研究例 低軌道衛星上のキャッシュからデータを配信

2,000km以下の高度を周回する低軌道(LEO)衛星を用いたネットワークが、通信エリアの拡大や災害時の通信手段として注目されています。LEO衛星にキャッシュを搭載しデータを配信することで、地上サーバを用いない高速なデータ配信が期待できます。



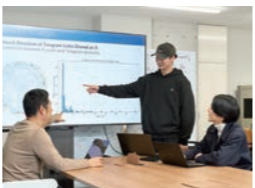
[2026年度 教員・研究テーマ一覧]

システムアーキテクトコース (SA)	
越智 裕之	FPGAと再構成可能アーキテクチャ、超低消費電力システム、集積回路設計自動化のためのアルゴリズムとデータ構造
斉 賢賢	量子計算、量子回路設計
組野 太一	認知情報学、ヒューマンロボットインタラクション、協調作業支援
高田 秀志	協調学習・協調作業支援、分散システム、ネットワークサービス、データベース
中村 優吾	ユビキタスコンピューティング、AIoT、行動変容デザイン
西尾 信彦	IoT、知的環境、組込みシステム、自動運転システム、位置情報システム
双見 京介	人間拡張工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、ウェアラブル、ユビキタス、行動変容
横原 絵里奈	ソフトウェア工学、プログラミング教育、行動分析、教育データマイニング
丸山 勝久	ソフトウェア工学、ソフトウェア開発環境、プログラミング言語
村尾 和哉	ウェアラブル、ユビキタス、センシング、行動認識、生体情報
山下 茂	次世代計算方式、量子コンピュータ、量子回路設計、バイオチップ、Stochastic Computing
楊 詩語	ソフトウェア工学(実証的ソフトウェア工学)、プログラムソースコード解析
吉田 則裕	ソフトウェア工学、IoT、セキュリティ
魯 希琴	プログラミング学習支援システム、ソフトウェア工学
セキュリティ・ネットワークコース (SN)	
樺山 空道	メモリシステム、近似計算、仮想マシン、オペレーティングシステム、メモリセキュリティ
上原 哲太郎	システムセキュリティ、システム管理、デジタルフォレンジック
上山 憲昭	コンピュータネットワーク、キャッシュ配信、ネットワークセキュリティ、IoT
鏡 精精	画像フォレンジック、ディープフェイク、ダークウェブ、自然言語処理
西村 俊和	計算機件件コミュニケーション、インターネットワーク、機械学習、組込みシステム
野口 拓	アドホックネットワーク、IoT、センサネットワーク、コネクテッドカー
野島 良	暗号、耐量子計算機暗号、秘密計算、機械学習
宮地 秀至	安全な暗号方式の構成、ブロックチェーンシステムの構成
毛利 公一	オペレーティングシステム、仮想化技術、コンピュータセキュリティ、組込みシステム
山本 寛	IoT、センサネットワーク、ブロックチェーン、機械学習、組込みシステム
吉田 敬望	アドホックネットワーク、IoT、センサネットワーク、ネットワークコーディング
社会システムデザインコース (SSD)	
泉 朋子	認知工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、思い出工学、感性工学
末村 徳信	知識工学、知識共有、オントロジー、人工知能
車 駿杰	人工知能応用、ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理
西原 陽子	ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理、人工知能、コミック工学

**KEYWORD 情報セキュリティ**  
 関連コース SA SN 計算 国際

研究例 データを安全に利活用するための暗号技術

機械学習の利用による個人情報漏えいの問題に注目し、データを安全に活用するためのプライバシー保護と暗号技術を研究しています。医療やSNS、ブロックチェーンへの応用も視野に、実装や実験を通して安全性評価・脆弱性の探索や技術構築に日々取り組んでいます。



**KEYWORD Webシステム**  
 関連コース SA SN SSD ISSE 計算 国際

研究例 心理的快適感に着目したファッションアイテムの推薦システム

ファッションアイテム購入サイトの生地拡大画像と購入者レビューから、着用時の心理的快適感を予測するためのマルチモーダル深層学習モデルを開発しています。これにより消費者の生活環境や特徴に即して、快適に過ごせるファッションアイテムの推薦システム実現を可能にします。



**KEYWORD 情報デザイン**  
 関連コース SSD ISSE 計算 国際

研究例 目の不自由な人向けの絵画鑑賞支援システム

目の不自由な人でも絵画鑑賞を楽しんでもらうために、画像キャプション技術を用いて絵画の内容を文章や音声で説明する支援システムを研究しています。絵のどこに何が描かれているかを説明してくれるため、説明から絵の内容を頭の中で再構成が可能でます。



服部 宏充	マルチエージェントシミュレーション、社会システムデザイン、人工知能、議論・対話支援
原田 史子	感情コンピューティング、センサシステム、推薦システム、データサイエンス
Brendan John FLANAGAN	学習分析、教育における人工知能、AI学習支援、人間AI協調学習
前田 亮	デジタル図書館、情報検索、多言語情報処理、人文情報学
村上 陽平	サービスコンピューティング、コミュニケーション支援、人工知能、デザイン学
Mondheera PITUXCOOSUARN	コンピュータ支援協調作業、異文化コラボレーション、協調学習
安尾 萌	ソーシャルメディア分析、情報の信頼性、コミュニケーション支援、自然言語処理
実世界情報コース (実世界)	
安藤 潤人	メカトロニクス、柔軟ロボット学、触覚テクノロジー、アプリケーション
木村 朝子	実世界指向インタフェース、バーチャリアリティ、複合現実感
柴田 史久	モバイルコンピューティング、複合現実感、マンマシンインタフェース
島田 伸敬	知能ロボティクス、コンピュータビジョン、空間知能化、機械学習、ヒューマンコンピュータインタラクション
高橋 治輝	ヒューマンコンピュータインタラクション、デジタルファブリケーション
中村 文彦	ウェアラブルコンピューティング、ヒューマンインタフェース、表情認識、人間拡張
野間 春生	バーチャリアリティ、触覚インタフェース、ハプティックVR、ヒューマンインタフェース、交通工学
藤井 康之	水上ロボット、自律移動ロボット
細田 佑也	音声強調、音声認識、画像解析、画像強調
松村 耕平	ヒューマンコンピュータインタラクション、ヒューマンロボットインタラクション、遊びによる介入、身体性認知科学
満田 隆	ソフトロボティクス、認知心理学
李 周浩	知能ロボット、空間知能化、人工知能、ヒューマンインタフェース
メディア情報コース (メディア)	
柳田 貴弘	コンピュータビジョン、画像センシング、物理ベースビジョン
歌 聡庭	音響信号処理、ピンスポットオーディオ
徐 達	歩容認証、EEG認証、マルチモーダル生体認証、人間行動理解、3D人体解析
高島 遼一	音声認識、音声合成、音声信号処理
田中 賢一郎	コンピュータビジョン、画像解析、光学センシング、機械学習
陳 延偉	知的画像処理、医用画像解析、コンピュータビジョン
永瀬 亮太郎	音声情報処理、パラ言語情報処理(感情など)

**学部コース**

SA システムアーキテクトコース 実世界 実世界情報コース ISSE Information Systems Science and Engineering Course

SN セキュリティ・ネットワークコース メディア メディア情報コース

SSD 社会システムデザインコース 知能 知能情報コース

**研究科コース**

計算 計算機科学コース

人間 人間情報科学コース

国際 情報理工学国際コース (Information Science and Engineering Course)

**KEYWORD インタラクション**  
 関連コース SA SSD 実世界 メディア 知能 ISSE 計算 人間 国際

研究例 遊び心のある介入で社会問題を解決する

人が面倒だなあ、大変だなあ、なにか難しそうだなあと感じてしまうようなことに対して、情報システムに「あそび」を導入することで解決するインタラクション手法を研究しています。やってみてもいい、これなら続けられる、なんとなく頑張れる、というデザインを考えています。



**KEYWORD 人工知能**  
 関連コース SA SN SSD 実世界 メディア 知能 ISSE 計算 人間 国際

研究例 人の気持ちを理解・表現できる音声認識・生成技術

コンピュータが、音声から誰が、どんな状況や気持ちで、何を話しているかといったさまざまな情報を理解し、またそれらの情報を反映した音声を作り出す技術を研究しています。これにより、例えばコンピュータが空気を読むといった、より人間らしいコミュニケーションが可能になります。



**KEYWORD 画像処理/CG**  
 関連コース SA SN SSD 実世界 メディア 知能 ISSE 計算 人間 国際

研究例 人の心を理解するための画像認識技術

人工知能(AI)の発達により、画像に写る物体や人物を高精度に認識できるようになりましたが、人の意図や感情などといった心的状態を推定することはまだ容易ではありません。このような心的状態推定の実現を目指し、顔表情や目の動き、身体運動などを認識できる画像認識技術の研究に取り組んでいます。



仲田 晋	コンピュータグラフィックス、計算機シミュレーション
西浦 敬信	音響信号処理、イマージョオーディオ、ピンスポットオーディオ、ノイズキャンセリング、異音検知
満上 育久	コンピュータビジョン、ヒューマンインタフェース、画像処理、VR/AR、人物行動解析
李 印豪	画像処理、コンピュータビジョン、深層学習
李 亮	画像処理、バーチャリアリティ、コンピュータグラフィックス、可視化
劉 家慶	マルチモーダルAI、映像メディア処理、感情・認知・行動認識
知能情報コース (知能)	
明石 行生	視覚情報処理、心理物理学、照明工学、色彩工学
柏原 考爾	生体情報工学、人間医工学、脳神経科学
金村 一輝	ニューラルネットワーク、理論神経科学、培養神経回路
川西 康友	コンピュータビジョン、マルチメディア処理、パターン認識、機械学習、AIによる科学研究
北野 勝則	脳の計算理論、ニューラルネットワーク
篠田 博之	視覚情報処理、色彩工学、心理物理学
宋 裕	コンピュータビジョン、深層学習、マルチモーダル大型モデル
坪 泰宏	脳情報理論、神経活動計測、統計モデリング、複雑ネットワーク
遠里 由佳子	計算生物学、機械学習、バイオ画像解析、時系列解析、データ駆動科学
西川 郁子	知能システム、機械学習、最適化
西 竜志	知能ロボティクス、最適化、スケジューリング、サブライチェーン
李 加一	人工知能、多モーダル学習、樹突神経モデル、大規模モデル
Information Systems Science and Engineering Course (ISSE)	
Alarith UHDE	Design for Wellbeing, Social Acceptability, Shift Planning, User-Centered Design, Social Practice Theory
Ibrahim KHAN	Game AI, Accessible Game Audio, LLMs for Games
Uwe SERDÜLT	Digital Governance Systems, Digital Democracy, E-Government Applications, E-Participation
Valentinus Roby HANANTO	Data Science, Natural Language Processing, Business Intelligence, Software Development
Eric W.COOPER	Interactive Intelligent Systems, Kansei Engineering
Djedje Didier GOHOUROU	Graph learning, knowledge graph, natural language processing, data extraction
Shady SALAMA	Data Science, Machine Learning, Production Management.

**KEYWORD データサイエンス/ビッグデータ**  
 関連コース SA SN SSD メディア 知能 ISSE 計算 人間 国際

研究例 神経の活動データを解析し、脳の発達過程を理解する

脳オルガノイドは、脳機能や脳疾患の理解を深める可能性を秘めています。その発達過程についてはまだ十分に理解されていません。脳オルガノイドの活動データを解析し、定量化・可視化することで、その発達過程や脳との構造・機能の違いを理解するための研究を行っています。



**KEYWORD 最適化**  
 関連コース SA SN SSD メディア 知能 ISSE 計算 人間 国際

研究例 AIを用いたロボットの知能化と知的システム計画に関する研究

ロボットの知能化やロボットとその周辺機器からなるシステムの最適化手法の開発を行っています。ロボットの配置動作計画の最適化、記号列入力によるロボットのタスク計画、省エネルギー動作計画技法、ティーチングレスロボットの開発、複数台移動ロボットの経路計画、スケジューリングやサブライチェーンマネジメントなどの研究を行っています。



**KEYWORD シミュレーション**  
 関連コース SA SN SSD 実世界 メディア 知能 ISSE 計算 人間 国際

研究例 Project SonicSight

AIは音のみで人間に勝てるか? Project SonicSightは、FPS等で「ブラインドAI」と人間の性能を比較。音響デザインを最適化し、AIの学習効率と人間のアクセシビリティを同時に高める環境を構築します。堅牢なAI開発と共に、視覚障害者向けの音を主軸としたゲーム指針の確立を目指します。



Damon CHANDLER	Visual Information Engineering, Computational Perception, Image and Video Quality Assessment
Nicko CALUYA	Augmented reality, Human factors, Perceptual information processing
Victor KRYSSANOV	Data Science, IoT, e-Society, Statistical Modeling and Simulation, Smart City and Smart Farming
Mate KOVACS	Data Science, Deep Learning, Natural Language Processing
Ruck THAWONMAS	Game AI, Serious Games, Audience Participation Games
劉 文斌	Human-Robot Interaction, Rehabilitation Robots, Multi-agent Control
コア教育部門	
Jeremy WHITE	Mobile Assisted Language Learning, Mobile Language, Digital Literacy
杉野 直樹	第二言語習得論、英語教育学
杉森 直樹	英語コーパス言語学、英語教育学
谷村 綾	英語教育学、コミュニケーション研究
Barry Christopher CONDON	AI in Education, CALL, L2 Reading, Materials Design
加藤 正輝	特殊関数論
平岡 敬浩	整数論：クリフォード代数を用いた2次形式の算術理論
吉川 達	日本語教育学、第二言語習得論

※大学院のコースについて

- ・SA、SN、SSDとISSEのうち該当の教員は、計算機科学コースに所属し、実世界、メディア、知能とISSEのうち該当の教員は、人間情報科学コースに所属しています。
- ・情報理工学研究科に日本語基準として入学した場合、入学者の所属は指導教員の所属コースとなります。情報理工学研究科に英語基準として入学した場合、指導教員の所属コースに関わらず、入学者の所属は情報理工学国際コース (Information Science and Engineering Course) となります。

大学教員詳細▶



大学院教員詳細▶

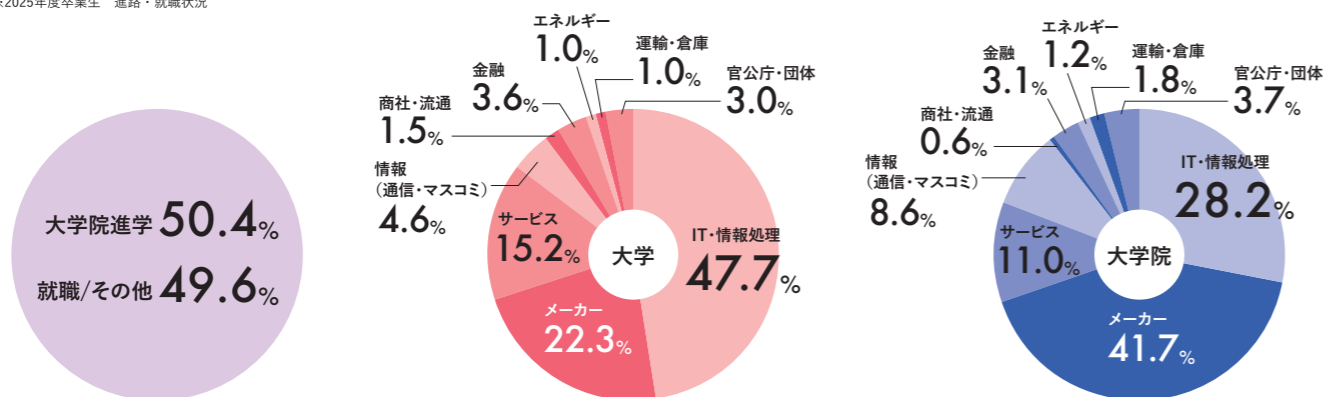


大学 大学院 進路・就職

専門知識を活かして、幅広い分野・企業で情報化社会の未来を担う人材へ

多くの卒業生・修了生が、身につけた高度な情報技術の知識やマネジメント能力、プレゼンテーション能力を、社会とのつながりの深いさまざまな分野で活かしています。

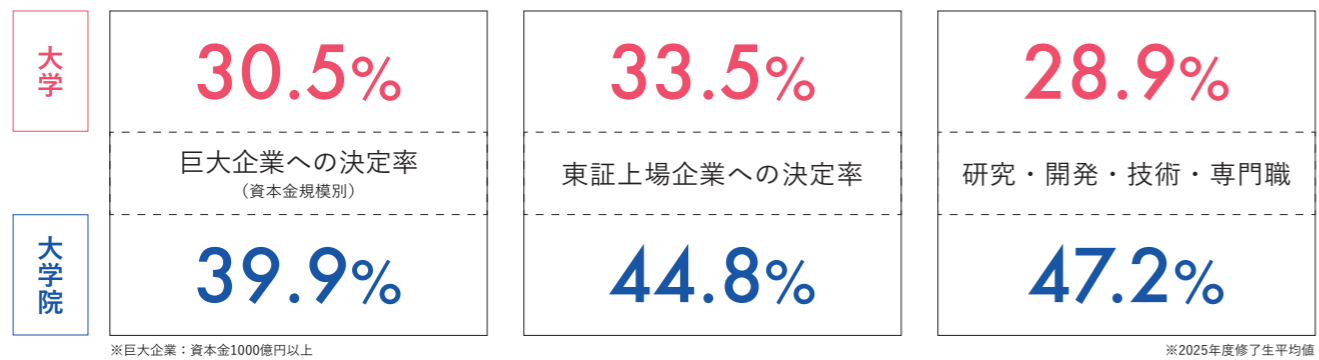
※2025年度卒業生 進路・就職状況



より専門性の高い研究職や高度専門職には大学院への進学が大きなカギになります

数字で見る就職実績

学部卒業生・研究科修了者ともに高い就職決定率を誇っています。一方で、規模や区分別で学部卒業生と研究科修了者の実績を比べてみると、研究科修了者が有利であると分かります。また、研究科修了者の方が、圧倒的に研究職や高度専門職に就く可能性が高く、同じ企業でも研究科修了者しか就けない仕事もあるため、早い段階から将来を意識することが大切です。



卒業生・大学院修了生 進路・就職先一例 (50音順)

(株)朝日新聞社	(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント	日本アイ・ビー・エム(株)
SCSK(株)	ダイキン工業(株)	NHK(日本放送協会)
(株)大塚商会	ダイハツ工業(株)	NTT東日本(東日本電信電話(株))
(株)オカムラ	(株)ディー・エヌ・エー	(株)日立システムズ
オムロン(株)	TOA(株)	富士通(株)
花王(株)	東京海上日動システムズ(株)	(株)ベネッセコーポレーション
鹿島建設(株)	東洋紡(株)	マツダ(株)
関西電力(株)	東レ(株)	三菱電機(株)
京セラ(株)	トッパン・フォームズ(株)	ヤフー(株)
(株)サイバーエージェント	トランスコスモス(株)	楽天グループ(株)
Sky(株)	NTT西日本(西日本電信電話(株))	楽天モバイル(株)
住友化学(株)	(株)ニトリ	地方公務員(上級職)

IT業界の仕事 (一例)

デジタルクリエイター
プログラマー
システムエンジニア(SE)
ITコーディネータ
ブリッジSE
ITインストラクター
ITコンサルタント

取得可能な資格 (一例)

基本情報技術者
応用情報技術者
高等学校教諭一種(情報)

卒業生からのメッセージ

大学で未知の世界に挑戦した経験が心の支え。デジタル技術で社会課題の解決に貢献したい。

大学で学んだVRの知識を活かしてコンテンツ開発に携わりたいと考え、TOPPAN株式会社に就職しました。よりよい社会の実現や社会課題の解決に向け、デジタル技術を使ったビジネスの種を探しています。最近、ジオラマを使うことで誰もが直感的に扱えるVRインターフェースの試作品を開発しています。大学で力を入れたのは、VR空間上での錯覚現象に関する研究です。多くの実験参加者の協力の下で研究を進めるために試行錯誤を重ねた経験は、ユーザー目線で事業の種づくりを行う今の業務に活かされています。自分のアイデアをチームメンバーとブラッシュアップする過程も研究室で経験。未知の世界に挑戦した経験は仕事の上でも心の支えになっています。発展するデジタル技術を誰もが体験できるコンテンツに落とし込み、特に地方が抱える社会課題の解決に貢献したいと考えています。

2015年、情報理工学部入学。2019年、情報理工学研究科に進学。在学中、国内外で計4回の学会発表を経験、うち2回で表彰を受ける。2021年に博士課程前期課程を修了し、凸版印刷株式会社(現TOPPAN株式会社)に入社。技術戦略センター企画チームに配属。リアルとデジタルをつなぐさまざまな領域で新たな可能性を探っている。



TOPPAN デジタル株式会社 技術戦略センター 企画チーム  
(情報理工学研究科 博士課程前期課程 情報理工学専攻 人間情報科学コース  
2021年修了、情報理工学部 メディア情報学科 2019年卒業)



PwC コンサルティング合同会社 Technology & Digital Consulting部  
Technology Advisory Services  
(情報理工学研究科 博士課程前期課程 情報理工学専攻 計算機科学コース  
2015年修了、情報理工学部 情報システム学科 2013年卒業)

ビジネスの視点で勉学に取り組んだことがコンサルタントとしての現在に活かしている。

大学・大学院を通して、防災やマーケティングでのデータの利活用を目的として、商業施設で収集したデータの分析・可視化手法を研究しました。研究では、総務省のプロジェクトで企業との共同研究に参画したほか、海外での研究発表も経験しました。ITを手段としながら社会や企業の課題を解決する視点で勉学や研究に取り組んだことが、コンサルタントとしての現在に活かしています。大学や前職で培った能力を活かし、企業が抱える難易度の高い経営課題の解決に携わることで、日本企業の成長に貢献したいと考え、PwCコンサルティング合同会社に入社しました。現在は、大手企業の顧客に対し、デジタル戦略の策定や新規事業アイデアの創出、事業化支援などを行っています。今後も経営に関する知識・経験を増やし、将来は地元・愛媛県の活性化、ひいては社会課題の解決に貢献したいと考えています。

2009年、理工学部入学。2010年、情報理工学部へ転籍。3回生の時、海外IT研修プログラムで短期留学するなど英語力を磨く。2013年、情報理工学研究科に進学。2015年に博士課程前期課程を修了し、株式会社NTTドコモに入社。2021年5月、PwCコンサルティング合同会社に入社。コンサルタントとして企業の経営課題の解決をサポートする。

夢は感情認識技術で心豊かな社会を実現すること、社会人学生として博士号取得を目指し勉学中。

当社を志望したのは、車載音声対話システムの開発・改善に、探究してきた音声感情認識の研究を活かせると思ったからです。現在は、車載音声対話システムや車載緊急通報システムで利用されるマイクやスピーカーの開発に携わっています。この仕事には、学部・大学院での学びに加え、学会発表で得た「細かいことに疑問を持つ力」や、留学生支援活動によって培った「現状に満足せずに行動する力」が活かされていると思います。なかでも、情報理工学部留学生支援団体(FSS)の副会長に就任し、後輩や留学生と協力して支援体制の充実を実現したことは、行動力の大切さを再認識する大きな契機となりました。感情認識技術によって社会を心豊かにすることが夢です。2023年には大学院博士課程後期課程に進学し、社会人学生として仕事をしながら博士号取得を目指して勉学に励んでいます。

2016年、情報理工学部へ入学。2020年、情報理工学研究科に進学。2022年に博士課程前期課程を修了し、トヨタ自動車株式会社に入社、デジタルソフトウェア開発センター 電子ハードウェア開発部に配属。2023年4月、博士号の取得を目指し、大学院博士課程後期課程に社会人博士枠で進学。



トヨタ自動車株式会社 デジタルソフトウェア開発センター 電子ハードウェア開発部  
サウンド電子システム開発室  
(情報理工学研究科 博士課程前期課程 情報理工学専攻 人間情報科学コース  
2022年修了、情報理工学部 メディア情報学科 2020年卒業)

その他の卒業生インタビューはこちら▶



# 立命館大学 情報理工学部 / 大学院情報理工学研究科

College of Information Science and Engineering /  
Graduate School of Information Science and Engineering

[情報理工学部HP]  
College of  
Information Science and Engineering

JP: <http://www.ritsumeai.ac.jp/ise/>  
EN: <http://en.ritsumeai.ac.jp/ise/>



[大学院情報理工学研究科HP]  
Graduate School of  
Information Science and Engineering

JP: <http://www.ritsumeai.ac.jp/gsise/>  
EN: <http://en.ritsumeai.ac.jp/gsise/>



## ACCESS



### 大阪いばらきキャンパス (OIC) への交通機関

J R 京都駅	約12分	J R 高槻駅	約5分	J R 茨木駅	徒歩 約5分
J R 米原駅	約69分		約5分		
J R 大阪駅	約14分				
J R 三ノ宮駅	約41分				
J R 天王寺駅	約17分	J R 大阪駅	約14分		
J R 奈良駅	約62分		約14分	阪急 大阪モノレール 南茨木駅	徒歩 約10分
近鉄 大和西大寺駅	約25分	近鉄 鶴橋駅	約16分		
阪急 大阪梅田駅	約18分				
阪急 西宮北口駅	約9分	阪急 十三駅	約14分		
大阪モノレール 門真市駅	約13分				
大阪モノレール 大阪空港駅	約21分	大阪モノレール 宇野辺駅	徒歩 約10分		

[情報理工学部・情報理工学研究科事務室] 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150 TEL:072-665-2075

[Office of College of Information Science and Engineering] 2-150 Iwakura-cho, Ibaraki, Osaka, 567-8570 Japan Telephone: +81-72-665-2075